

カンボジア地雷対策センター（CMAC）訪問時の
上川陽子外務大臣のスピーチ
（2024年7月6日）

1 地雷分野における国際協力の振り返り

- ヘン・ラタナ長官、皆さま、本日は、カンボジア地雷対策センター（CMAC）を訪問できて、大変喜ばしく思います。
- CMACの30年以上にわたる地雷対策の取組について詳細にご説明いただき、この間の多くの関係者の多大なる努力に感銘を受けました。
- 対人地雷の被害者の大半は子どもを含む民間人です。
- 日本は、「人間の安全保障」の理念のもと、脆弱な人々も安全・安心に暮らせる世界、「人間の尊厳」が守られる世界の実現を目指し、外交を積み重ねてまいりました。対人地雷の問題は、正に「人間の尊厳」を脅かすものです。
- こうした考えの下、日本は、内戦後のカンボジアの地雷対策に一貫して協力してきました。
- 自国内の地雷除去を着実に進めてきたカンボジアは、今や、世界の地雷対策をリードする存在です。

2 日本の地雷対策協力に関する新たなビジョン

- 一方で、世界では、多くの国々が、対人地雷の被害に苦しんでいます。こうした国々の地雷への対策を、日本としてどのように進めていくべきか。
- 本日、日本の地雷対策の原点たるここカンボジアで、地雷対策協力に関する日本のビジョンをお示ししたいと思います。
- まず、地雷対策には、一貫した、包括的な取組が不可欠であります。
- 地雷の探知と除去、さらに被害リスクを回避するための教育や啓発、そして、被害者への支援も重要です。
- 地雷対策支援の中核は、なんと言っても人材の育成です。技術や機材を安全に活用するため、徹底した安全管理に基づく教育が必要です。
- そのためには、民間企業の技術、ノウハウ、アカデミアの知見など、関係するステークホルダーの幅広い参画も不可欠です。
- 日本は、地雷リスクの啓発、地雷の探知と除去、地雷被害者支援のそれぞれのフェーズで、国連安全保障理事会決議1325号に基づく、女性、平和、安全保障(WPS)の視点も踏まえて各ステークホルダーと連携してまいります。

- この「地雷対策支援に関する包括的パッケージ」を被害国、あるいは同志国・国際機関にお示ししながら、力をあわせて、より効果的な支援の実施を目指します。
- 地雷のみならず、戦争で使用された不発弾の問題も忘れてはなりません。こうした兵器の技術も日進月歩ですが、民間人の被害を防ぐ技術も、また進化の途上にあります。
- 地雷で手足を失った人たちが必要としている義肢・装具の製作にも、最新の技術が応用されています。
- AI などを活用した地雷探知技術の開発も進んでいます。
- 私たち日本は、技術立国としての誇りを胸に、ODA を活用して、このような最新の科学技術の開発と、現場の経験に根ざした「ものづくり」への応用を後押ししてまいります。

3 日カンボジア地雷イニシアティブの立ち上げ

- 日本が世界の地雷対策を進めていく上で、欠かせないパートナーが、カンボジアです。
- カンボジアを国際的な地雷対策協力のハブとして展開し、世界中の地雷被害ゼロを目指してまいります。

- 本日、両国で協力して、「日カンボジア地雷イニシアティブ」を立ち上げます。これは、次の4本の柱からなります。
- 第一に、カンボジアは地雷に苦しんできた国だからこそ、対人地雷の非人道性の啓発に大いに貢献いただけると確信します。
- 本年11月にシエムリアップで開催予定のオタワ条約第5回検討会議で、地雷により苦しむ人々への支援を含む幅広い分野で、我が国とカンボジアが協力して行ってきた地雷対策の様々な取組を紹介しつつ、「対人地雷のない世界」に向けて、国際社会の啓発と条約の更なる普遍化に取り組みます。
- 第二に、カンボジアには、地雷対策の知見が蓄積され、また、専門人材がしっかりと育っています。
- そこで、日本は、カンボジアにおける地雷なき世界のための国際協力チームの新設に協力し、そこで活動する人材を増強すべく、支援します。
- 第三に、両国は、民間企業やアカデミアの知見も活用して、第三国での地雷対策を共同で実施していきます。
- 本地雷イニシアティブの具体的な協力として、ウクライナにおける地雷対策に本格的に取り組めます。

- 来週、ウクライナに大型地雷除去機を供与し、来月には、ここカンボジアで、ウクライナの実施機関を対象に、機材の使用方法の研修を行います。
- 第四に、両国が協力し、民間企業と連携して、「ものづくり」の精神に根ざした地雷対策に関する科学技術・イノベーションを進めます。

4 結語

- 地雷対策協力は、日本とカンボジアの「包括的戦略的パートナーシップ」の重要な一角を占める協力です。
- 共に手を携えて、世界の地雷被害ゼロを目指して協力を進めてまいりましょう。
- ソーム・オークン（合掌）